

芦屋市政に 新しい風を！ 大原ゆうき



芦屋生まれの31歳！



(1) 財政の無駄づかい削減

- ・業務システム導入による市役所業務の効率化
- ・民間へのアウトソーシング

※裏面に詳しく記載しています！

(2) 議員活動の見える化

- ・活動内容を透明化することで、市民による監査機能を働かせる
- ・市民が「いつでも簡単に」確認できる情報開示の実施

(3) 未来を担う人材の育成

- ・英語教育の強化
- ・地域コミュニティの活性化

(4) 防災の強化

- ・警察、消防、自衛隊の役割分担の明確化
- ・災害に強い情報システムの構築



<http://oohara-yuuki.jp>

大原ゆうき

検索



大原 裕貴



@ooharayuuki

後援会事務所: 〒659-0051 芦屋市呉川町5-17
TEL: 070-5502-4708 FAX: 0797-38-0334
Mail: info@oohara-yuuki.jp

私も推薦します！

前衆議院議員 はたなか光成



芦屋市の公務員給与は高いのか？

芦屋の財政を改善するには、経費削減にて歳出（支出）を減らす必要があります。そして、経費削減の要は人件費の削減です。では、芦屋市の人件費は多いのでしょうか？以下の表を見てください。

芦屋市の歳入、歳出、人件費の一覧

単位：百万円

項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
歳入	38,236	32,814	30,175	27,734	30,894	26,896
歳出	38,236	32,814	27,484	29,925	26,732	26,868
人件費	7,335	6,704	7,036	6,725	6,661	6,496
人件費比率	19.18%	20.43%	25.60%	22.47%	24.92%	24.18%

芦屋市：長期財政収支見込み（平成24～35年度）（平成26年2月）より抜粋

この表は、芦屋市から公開されている長期財政収支の一覧より人件費を抽出したものです。歳出（支出）に含まれる人件費の割合を人件費比率としています。芦屋市の人件費比率は全国の自治体の中でも高く、813市区中、60番目の高比率です。このことから、芦屋市の公務員給与は業界内で高い水準にあると言えます。

人件費削減へのアプローチ～リストラや給料ダウン～

てっとり早く人件費を削減する方法は、リストラや給料ダウンです。しかし、それは作業品質の低下に繋がります。公務員の作業品質が低下すると、市民が不利益をこうむる可能性が出てくるため、リストラや給料ダウンによる人件費削減には慎重になる必要があります。人件費削減は、そのものが目的なのではなく、市民の暮らしを豊かにするための手段に過ぎないのです。

また、公務員の場合、民間で働いている人と違い、雇用保険がありません。よって、今いる職員を解雇するのは好ましくありません。通常運用に必要な人数を減らすことで、不要な採用を減らし、人件費を徐々に減らしていくのが理想です。

人件費削減へのアプローチ～作業時間の短縮～

人件費は、それぞれの作業に対して何時間かけたかで決まります。例えば、1時間でできる方法がある中で3時間かけてしまった場合、2時間分の作業時間が無駄になります。少ない時間で如何に多くの成果をあげるか、これこそが利益拡大のための秘訣で、健全な行政運営を行うための方法だと思います。

では、どのように作業時間を短縮するか。それは、業務システムの導入です。システムを導入する場合、初期費用こそ必要ですが、何年か運用することで採算が取れるようになります。儲けが出るから民間企業でも盛んに取り入れられているのです。現在の芦屋市の財政は、市債こそ残っていますが震災直後のどん底状態を脱しており、設備投資ができる状態になっています。今こそ、システム導入を行い作業の標準化を行うべきです。

人件費削減へのアプローチ～民間への業務委託～

一般的に、組織で成果をあげるタイプの仕事は「頭」となるポジションと「手足」のポジションがいて成り立ちます。「頭」担当が方針や戦略を練り、「手足」担当が実行します。そうでなければ、「船頭多くして船山に登る」ことに繋がります。

市役所業務は、チームで行われる業務なので、「頭」は芦屋市の方針を理解している公務員が担当し、「手足」は民間で対応すれば全体的な人件費を抑えられます。事務方の手足の役割であれば、民間の要員でも問題無く運用できるはずで。



大原 ゆうき

昭和59年（1984年）2月8日（31歳）芦屋生まれ

関西学院大学経済学部卒業後、民間企業でシステムエンジニアとして勤務
維新の党 芦屋市政対策委員